

平成10年度

梅花流全国奉詠大会に参加して

平成十年五月二十七日、滋賀県立長浜ドームに於いて、梅花流全国奉詠大会が開催されました。前日の曇り空とはうつてかわった日本晴れの下、さわやかに大会は始まりました。

曹洞宗管長貌下板橋興宗禪師様は「奉詠は仏行」という題で、ひたすらに打ち込んで人は仏になるのです。その根底にあるのは、仏様となることへの願いと誓いであり、とりわけ皆様がお唱えになる「お誓い」は、その願いを暮らしの中に誓い行うものです。宗門八百年の歴史とともに、梅花流の厚みと根幹の太さを思う次第であります。』といふ御挨拶がありました。昨年、秋田にも御来県頂きました。まだあの時の文化会館での感激が記憶に新しいこと

第一部の開会式が終り、第二部登壇奉詠が始まり、我



平成10年7月23日
第14号

題字 大館市宗福寺先住
故 加藤信三老師御染筆
発行所 北秋田郡鷹巣町七日市
龍泉寺内
秋田県梅花流師範会事務局
丹生 純雄 保坂春聰
(広報部) 北秋田郡合川町合川
米倉印刷所
☎0186-78-2324

が秋田は十五番目、初日最後の登壇でした。みんなの日頃の練習の成果を充分發揮でき、声がよく出て、音階もとても良い「報謝御和讃」の奉詠でした。

我が講からも昨年入ったばかりの男性講員が登壇し、臆することもなく堂々と奉詠していました。やはり講員であつた奥さんに先立られ、梅花を始めました。同行のおばあさん達と心から楽しそうにこの旅を終えました。これも御詠歌をお唱えするという共通の目的的為でしょう。

年に一度の全国大会、若い人達は大先輩の元気な姿を見て、自分達はまだまだこれからという気になり、先輩達は又、若い人の力を頼りに遠くまで出掛けけて来るのです。なんて素晴らしいことではないでしょうか。

全国大会を拝見していると、どこの講も年々上手になつてきてると思われます。何百人もの人達が、いつしょにお唱えするのです。それも一度もいっしょに練習することもなく、ぶつつけ本番です。心を一つにしてお唱えすることのなんと立派なことでしょう。

大館市には樹海ドームという、立派な会場も出来ました。いつの日か我が県で全国大会がありますように、今後も練習に励んで、来年も元気な姿で、お会いできることを祈念し、ペンを置かせて頂きます。

森吉町
奥山淨福寺
リツ子

有難い事に、梅花の先生には講結成以来、柴田弘一先生に御指導頂いて居ります。先生の優しい楽しい御稽古に、一同月に一度の練習日が待ち遠しく、御詠歌の練習日には休む人も無く、皆真面目に出席して居ります。又この外に毎週月曜日弁天様のお堂

月に結成されて早や十年を過ぎましたが、それより以前は、数人の方達が近所の蒼龍寺様の梅花講に入れて頂いて、数年の間お世話になつたものでした。只検定の度頂くお免状に、蒼龍寺梅花講という名前で頂くので、何とかして「嶺梅院の名前でお免状を講を結成して頂いたものでした。

新入会員を含め最初は十四、五人で発足したと思いますが、今は二十人程に増えて居ります。

私達の嶺梅院の梅花講は昭和六十三年九月に結成され、数人の方達が近所の蒼龍寺様の梅花講に入れて頂いて、数年の間お世話になつたものでした。只検定の度頂くお免状に、蒼龍寺梅花講という名前で頂くので、何とかして「嶺梅院の名前でお免状を

えい
永
れい
嶺

さん
山
いん
院

住所	秋田市土崎中央二丁目八一二二
設立	昭和六十三年五月
講長	三浦 昭一
講員	二十二名

シリーズ おらほの梅花講

で初心者の練習と親睦の為に午後一時から四時頃まで梅花の練習会をさせて頂いて居ります。

最初は一時的のつもりでしたが、皆さんのお熱意とお寺の方丈様奥様達の暖かい御援助のお蔭で、もう五年近くも続いて居ります。講員の方々の詠讃歌に対する情熱は、老いを忘れ若々しく本当に楽しそうです。梅花はボケ防止の妙薬と心より嬉しく練習させて頂いて居ります。

又もう一つの幸せは、新築の客殿の冷暖房完備の大広間で柴田先生

からご詠歌のお稽古をして頂ける事です。この喜びは梅花講に入った人でなければ味わえぬ幸せです。講員の中には御主人を亡くしたり、

7月18日(大本山永平寺二祖国師讚仰御詠歌(永光))
 25日(大本山總持寺二祖國師讚仰御詠歌(永光))
 8月1日(孟蘭盆会御和讃)
 8月8日(孟蘭盆会御詠歌(迎火))
 15日(平和祈念御和讃)
 22日(追弔御和讃)

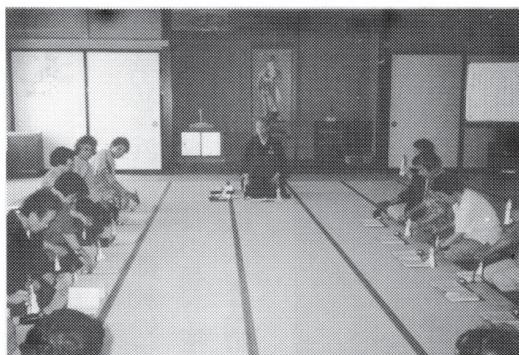
8
○一
八
一
七
三
一
七
六
七
六

紹介者 講員 小沢依子

る事で亡き人への追善供養となり、心の悲しみも癒していただいているのではない

柴田先生が、私達に一番力を入れて教えて下さる事は、教典のお誓いの言葉です。

私達はお誓いの言葉を胸に正しい信仰に生き、仲よい生活をし、明るい世の中をつくる事を心がけて頑張って参りたいと思って居ります。



ー客殿での練習風景ー

テレホン梅花予定表

9月5日(高祖承陽大師第一番御詠歌(梅花))
 12日(太祖常済大師第一番御詠歌(梅花))
 19日(高祖承陽大師第二番御詠歌(梅花))

さん山じ寺

ほう寶 珠 うもん門

住所 男鹿市船越二六七
設立 昭和六十一年
講員 二十名

七月二十六日

講長 伊藤 融悦

男鹿の関門当山は、町の中心に位置し山門は県道に接し参道は石畳百四米幅三米五十、境内右側雷神海川大龍王堂、日本三大稲荷伏見堂、左側石仏三十三体觀音、忠靈殿等が並び、秋田三十三觀音靈場として県内外の巡拜者が上山致して居ります。

そして此地海滨は、絶好の環境に恵まれ妻戀山の御柱を背景とし、前方洋たる海上には、水天髪髪の間に聳ゆる出羽富士の秀峰は、白扇倒に懸げるを覚ゆ。更に左を指せば土崎港、右に向れば船川港は指顧の間に見ゆ。然もこの一帯は白砂青松の自然美に富み、一碧拭うが如く自ら天空快活の精氣に打たる。朝には松籟の響きに耳を払い、夕べには日輪西海に沈むを見る。夏は文人墨客終日松林に座してあかず、正に世俗の紅塵飛んで到らざる佳境というべし。

色々仏縁に依り、御隣寺自性院様のお誘いを戴き、あまり抵抗なく第一期講員二十名、第二期七名、爾来十三年。高齢化とおります。私は六十の手習いに始まり、何

にも解らず只々自性院様の御指導に依り、今日を迎え、講員共々今迄になかった世界に入る事の感謝で一杯です。練習は毎月二回、恒期法要として大般若会、春彼岸、涅槃会、釈尊降誕会、地藏祭、施食会、成道会、等々奉詠申上げつつ、今後講員拡充に努力している次第です。尚毎日曜日坐禅会、朝六時～七時迄開單。

私達の生活は「仏と共に生きる事」生きるとは挙む事「合掌の心」であり、それは「祈りの心」です。ある国立病院看護婦募集の葉に「看護婦なろうと志す方は、健康でなければならず、能力もなければなりませんが、身も心も痛み悲しんでいる病人を労わる優しい真心を持っている事が、看護婦になる一番大事な資格です」と書いていましたが、いや看護婦さんばかりでなく、人間としてどんなに健康で能力があつても、真心の玉を持たなかつたらそれは息をしている機械か動物です。

祈りを込めて御仏に合掌すれば信心となり祈りを込めて父母に合掌すれば孝養となり祈りを込めて長上に合掌すれば敬慕となり祈りを込めてお互いに合掌すれば

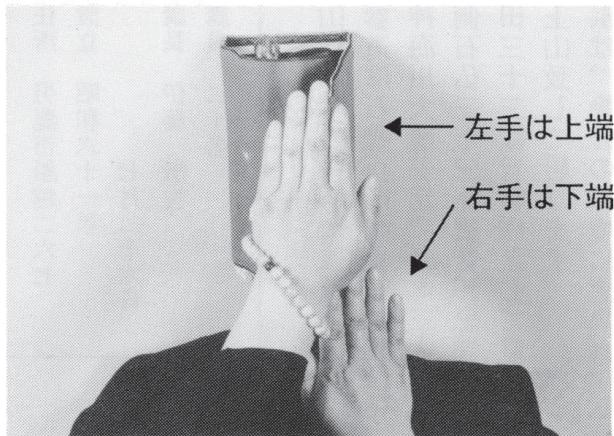
異体同心となり
祈りを込めて事物に合掌すれば慈愛となり
祈りを込めて自分に合掌すれば
自己改革となる

10月3日～達磨大師御和讃歌（梅花）	10月24日～正行御詠歌（道環）	10月31日～修証義御詠歌（伝心）
11月7日～同行御和讃歌（道交）	11月14日～同行御詠歌（道交）	11月21日～觀世音菩薩御和讃
12月5日～大聖釈迦如來成道御詠歌（明星）	12月19日～地藏菩薩御詠歌（慈念）	12月26日～誓願御和讃
1月2日～釈尊花祭御和讃	1月9日～釈尊花祭第一番御詠歌（歡喜）	1月23日～慶祝御和讃（歡喜）
平成11年	16日～釈尊花祭第二番御詠歌（法灯）	30日～高祖承陽大師讚仰御詠歌

※リクエストや、ご意見、ご感想等をお待ちしております。

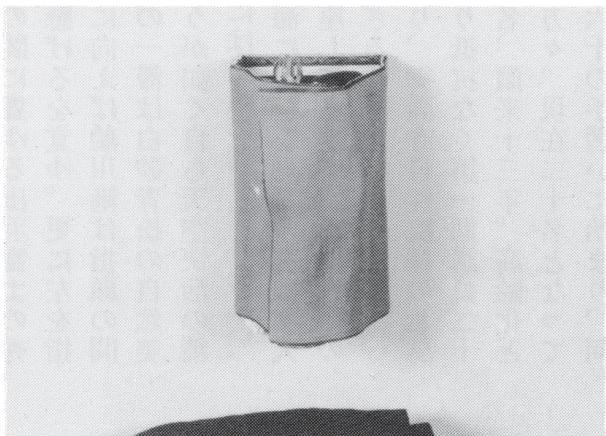
基本作法(4) 法具の解き方

← ②



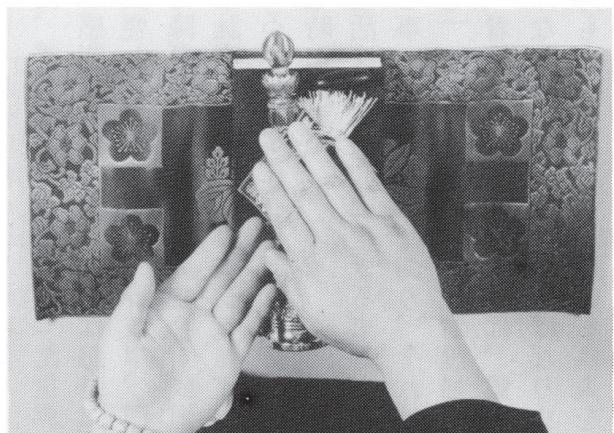
人差し指と中指で祓紗をはさみ持つ

← ①



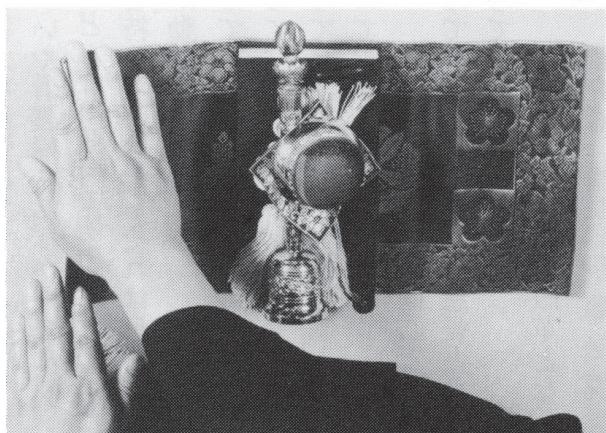
合掌一礼

← ⑥



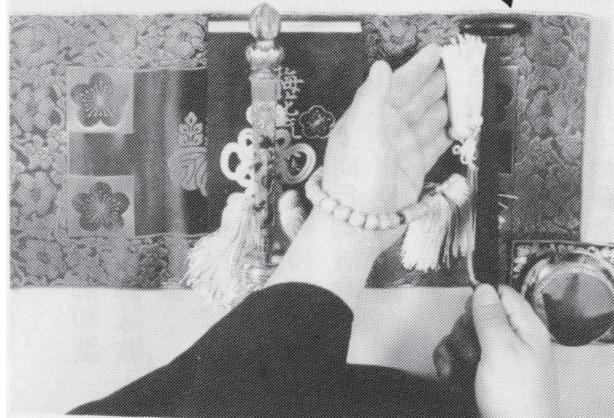
右手の角度に注目

← ⑤



この右手を中心の鉢へと移動する

しゅ木頭がはみ出さないように ← ← ⑩

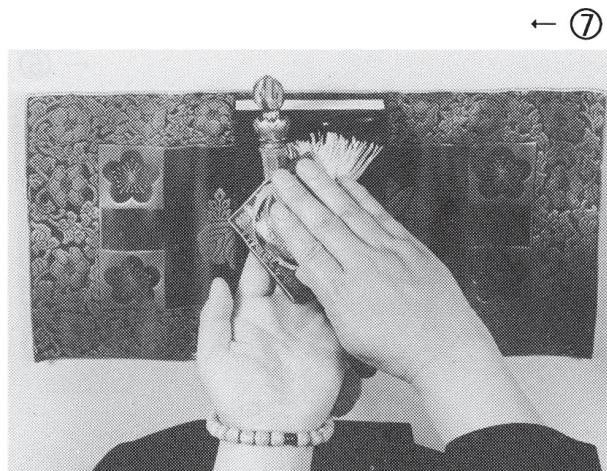
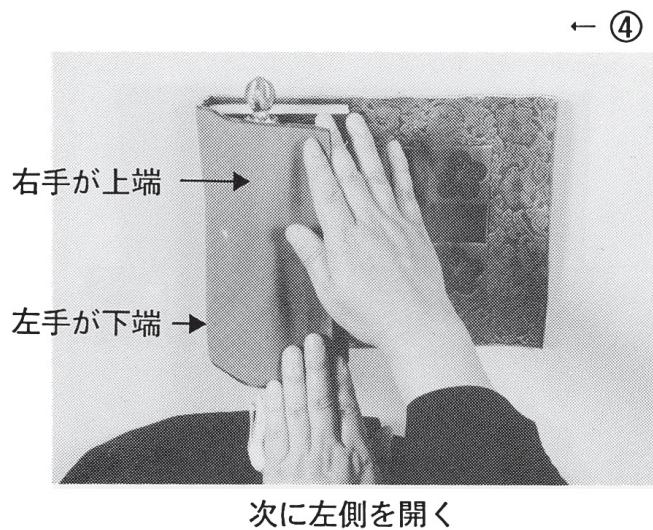


祓紗の右側、梅花紋上に置く

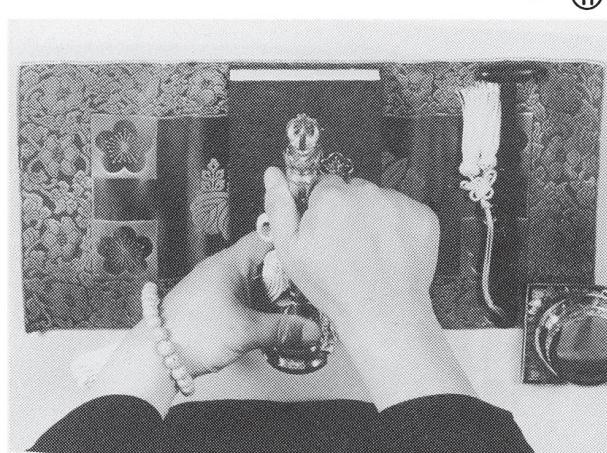
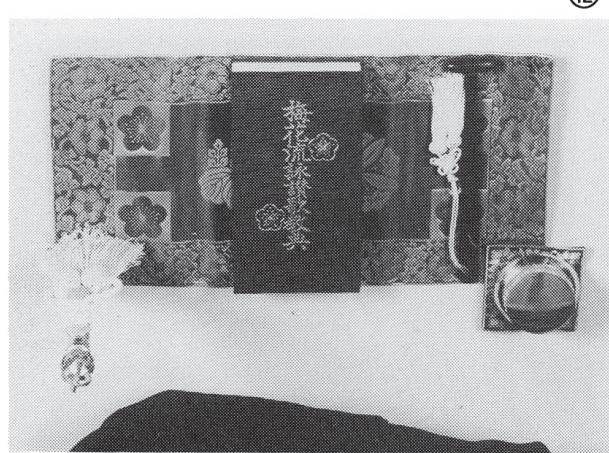
← ⑨



写真で見る



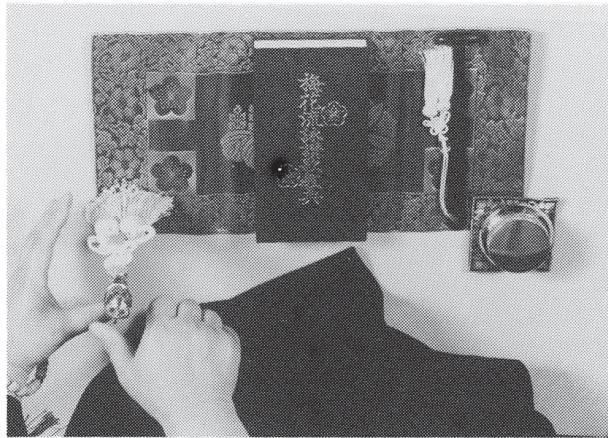
⑥～⑦の左手の角度に注目



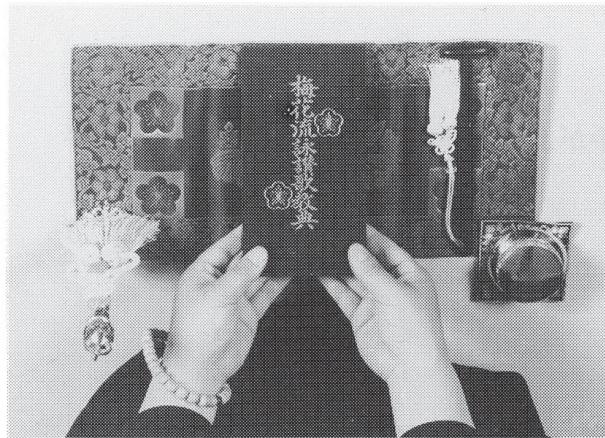
鈴は45度ぐらいに傾けたまま定位置へ

基本作法(5) 法具の組み方

← ②



← ①



教典2ページ開きの場合は、上記のようにし、
4ページ開きの場合は、しゅ木を定位に置き
かえてから②へ進む

← ⑥

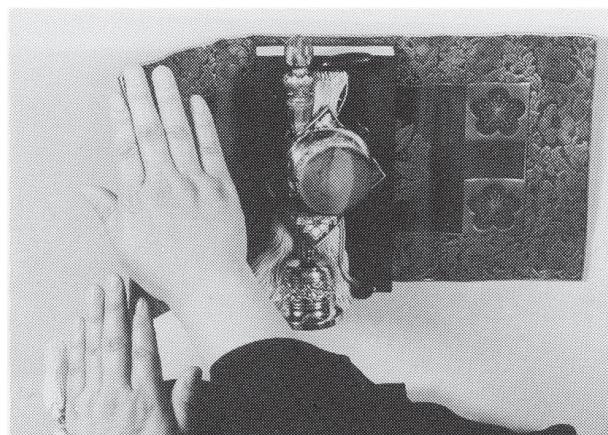


← ⑤

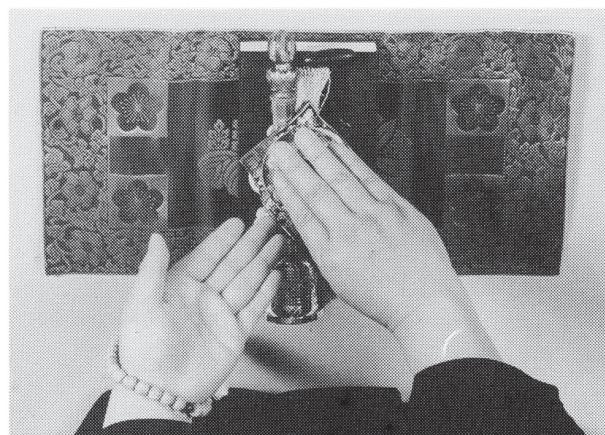


しゅ木を鈴柱の右側に添え置く

← ⑩



← ⑨

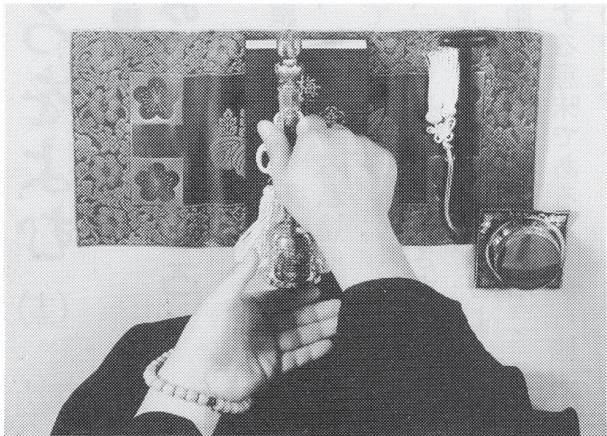


先に袱紗左側から

⑧と⑨の左手の角度に注意

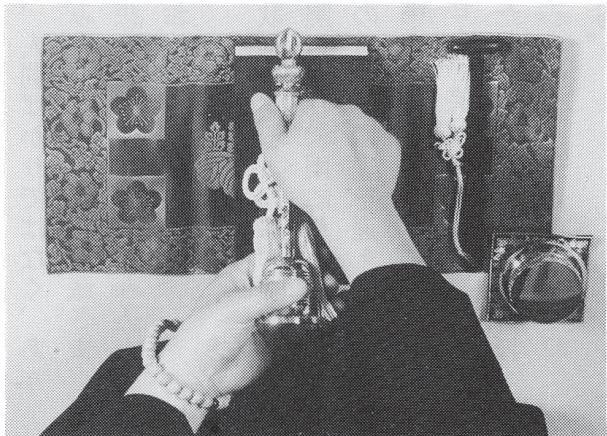
写真で見る

← ④



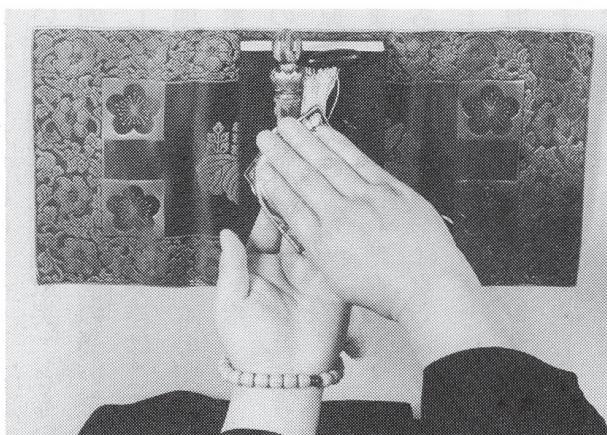
左手は房を整えながら手前に抜く

← ③

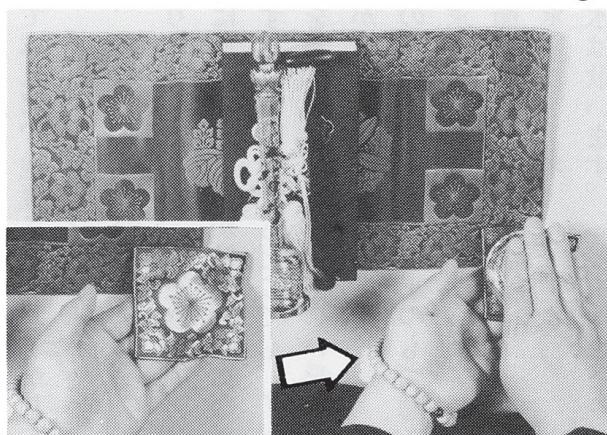


鈴頂の方から置く

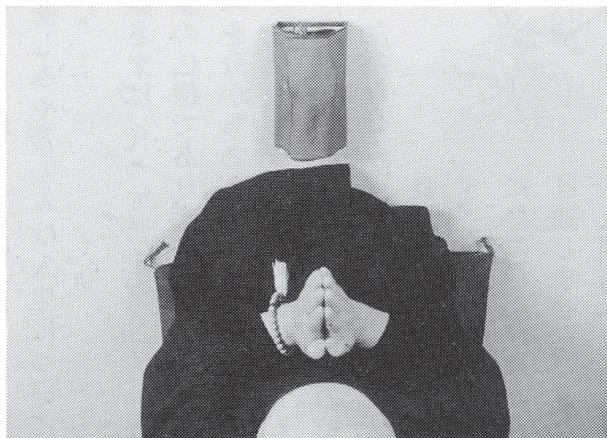
← ⑧



← ⑦

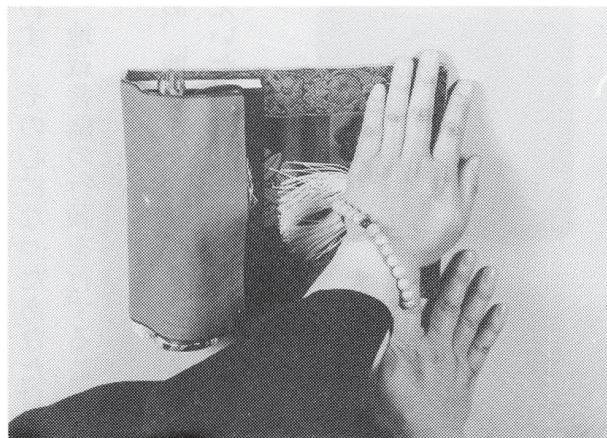


⑫



最後に合掌一礼

← ⑪



次に袱紗右側

地蔵菩薩御和讃

こころをよむ

(三)

ほほえみを学ぶこころ

地蔵菩薩御和讃の歌詞は、わかりやすくできていますが、お唱えする私達の心との結びつきで考えてみましょう。

観音様と並び、最も身近な地蔵さまは梵語でキシチ・ギャルバといい、キシチは大地、ギャルバは胎、即ち「はらごもる」。いのちを包み藏する意味であることから地蔵と訳されたものです。

さて第一番の歌詞にあるように、地蔵さまは方々で日に照らされ、雨にうたれながらも、ほほえみの尊顔で私達を迎えてくださいます。『ほほえむ姿』は、決して『笑い顔』ではありません。笑いは自分の喜びが衝動的に外に出たものであるのに對し、ほほえみは自分の心の中で十分に納得した時の表情であります。

微笑」とい、「働く寸前の微笑」ともいいます。即ち、他を思いやり他の憂いを憂ういくしみの極限であり、私達はこのほほえみを地蔵さまから学びたいものです。

* * *

第二番の歌詞は、昔から信仰されてきた「賽の河原」で遊ぶ亡くなつた子どもを救う地蔵さまのお姿を表現したものです。

大地があらゆいのちをはぐくみ育てることから子安地蔵・子育て地蔵といわれるよう、地蔵さまは幼いいのちを育ててくれます。子どもを亡くした親の悲しみは、その身にならなければわからない深いもの

であるだけに、そこに行きたくとも行けない親にしてみれば、地蔵さまにおすがりすることで、どれだけ心安らかになることか。

しかし、この節は「賽の河原」に限るものではありません。いま、子ども達の叫び

がおとなに通じないことが社会問題になつております。いつの世でもどこでも、子ども達の声を十分に聞きわけ、正しい愛情を注ぐことが親の責務でもあります。

この親のつとめを、地蔵さまのもつ慈しみの心に求めていかなければならぬことがあります。この節が訴えております。

かば寂しさの終てなむ国ぞ今日も旅ゆく……悲しみや苦しみは人生についてまわります。

地蔵さまは“代つて苦を受く”という代受の誓願の仏様であります。自分の悲しみ・苦しみを分かちあえる人がいれば、どれほど心安らかになることでしょうか。

ただ、大切なことはこの御和讃の結びである「たのむ心にかけはなし」の一節です。自分の惰弱な一面を省みず、自分に都合よいようになたのむ心は地蔵さまには通じません。

人間の小さいはかりいを捨て、まじりけのない純一な心で掌を合わす……その心になつたあなた自身がその時、地蔵菩薩の行願を行ふことになります。

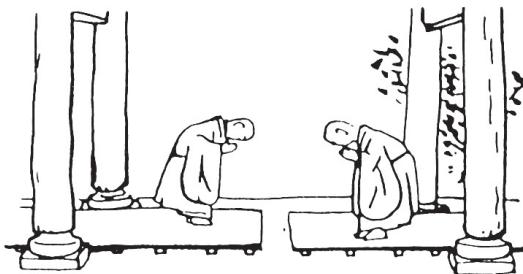
さあ、地蔵さまになりきるよう、至心にお唱えいたしましょう。



大内町
興昌寺住職
大坂高昭

チョット ぶじょほう

おばあちゃんの智慧



昨年の夏休み、子供たちを連れ、車で帰省した。前日に開通した秋田自動車道は快適であった。千葉の親戚に一泊、叔母さんの一周忌に当たるのでお墓参りをしてからデイズニーランドで家族サービス。この日は、思い切ってホテルに泊まり、翌日、郷里の長野に向かう。実家に二泊。帰路は、国道7号線をひた走り、全行程約一六四〇キロの旅をしてきた。

実家で良い話を聞いた。兄の友人Kさんのことだ。Kさんが三十一歳のとき、勤務時間中よく実家に来ては兄のベットで仮眠をしている。それを見ていた父がたまりかねて、見合いを勧めた。何と彼は、今まで三十二回も見合いをして失敗しているの

だった。一ツ橋大学を卒業し、実家近くの銀行に勤めている彼であった。兄の反対をよそに嫁さがしをした。横浜国立大学を卒業した才媛とのお見合いの前日、父は彼を呼びこう切り出した。「K君なあ、仲人七うそ、と言つてな、お互いいの良いところだけを言うのが普通だ。ところで、明日の見合いでな、彼女が身長は?と尋ねたら、はい一六〇センチですと答えるんだぞ。」すると彼は、真顔で答える。「おじさんの言うことはわかるけど、おれは嘘までついて結婚したくない。おれの身長は一五八センチ……」「二センチぐらいなんだ、いいからおれの言う通りにしろ。」

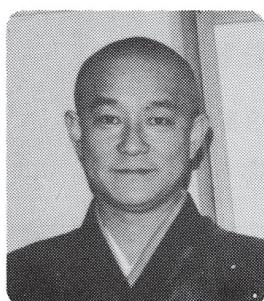
果たして、その通り答えたかどうか定かではないが、二人はめだたくゴールイン。なんと、彼女の結婚希望書に、「身長一六〇センチ以上」と書かれてあつたんだそうな。順風満帆の滑りだし、一男一女にも恵まれて、幸せそうな様子であった。ところが五年ぐらいたつたある日、お嫁さんが荷作りをして実家に帰るという。嫁いだKさんの家は、八百屋さん。八百屋さんは朝が早い。はげ頭の父さんは、馬力があつて、口うるさい。大学は出たものの、朝に弱いお嫁さんは、毎日攻めたてられて、とうとう我慢ができなくなってしまったらしい。

おばあさんがたまりかねて、お嫁さんのところにやつてきた。「M子さん、どうし

たの。」「おばあちゃん、すみません。私ももうだめなんです。堪忍して下さい。」「あたしだって、この人と別れようと思つたことは二度や三度じゃなかつたよ。でもあの子がいたからねえ。そうかい決心したかい。：じや、ちょっと待つて。」おばあさんは、自分の通帳と実印をもつてきて「これから大変だけど、体には気をつけるんだよ。」とM子さんに渡した。やさしくしてくれたおばあさんに申しわけない気持ちでいっぱいになつたM子さんに、おばあさんが言つた。「ああ、それからね、M子さん。もう一つお願ひなんだけど。：できたら私も連れてつて。」

これにはまいつてしまつたお嫁さん、もう少し辛抱してみようと、思い直したのでありました。

最近になつて、あの親父さんがポツクリ亡くなつたのだそうです。今、K家は、本当に幸せに暮らしているそうです。
(親父さんには、おおきだに ぶじょほううだすな：)



琴丘町
松庵寺副住職
渡辺紫山

合掌

検定会

- ◎検定日 **9月16日(木)** 中央地区
 申し込み期限 9月6日
 会場 秋田温泉さとみ
 事務局 秋田市金足 東泉寺
 ☎ 018-873-2675
- ◎検定日 **9月16日(木)** 県北地区 11・18教区
 申し込み期限 9月6日
 会場 鹿角市花輪・百助旅館
 事務局 鹿角市花輪 恩徳寺
 ☎ 0186-23-2372
- ◎検定日 **9月21日(月)** 県北地区 9・10教区
 申し込み期限 9月14日
 会場 二ツ井町・ヘルスセンター
 事務局 森吉町本城 浄福寺
 ☎ 0186-72-3304
- ◎検定日 **9月21日(月)** 県南地区
 申し込み期限 9月14日
 会場 大内町・楠山荘
 事務局 由利郡西目町 円通寺
 ☎ 0184-33-3049
- ◎検定日 **10月25日(日)** 3級教範
 申し込み期限 10月15日
 会場 秋田市・補陀寺
 事務局 秋田県宗務所 梅花主事
 ☎ 018-868-6871

※時間厳守にご協力下さい。

各会場とも午前9時集合～受付
 開講式 午前9時30分
 検定開始 午前10時

※各講長さんや指導者、それに受検される講員の方々は「同行」10号10ページと11号12ページの「受検者心得」「各教階毎の留意点」等を見て来て下さい。

提寺でも、梅花の輪を広げて下さい。
 秋田県奉詠大会も県南地区が七月二十五日、
 県北地区が八月二十九日に開かれます。一
 人でも多くの方が参加されますよう、誘
 って下さい。お盆もあります。各々の菩

編集後記



◎「写真で見る基本作法」この度は、法具の解き方・組み方を分解写真にしてみました。法具は仏法用具と言うことでしょうか、粗末にならぬよう、大切に扱いたいものです。◎全国大会・特派師範講習会等も終わり、秋田県奉詠大会も県南地区が七月二十五日、

お世話になりました



高知県 上田秀人師範
 福井県 西川照孝師範

特派師範巡回講習会

梅花講習

(秋田市 禅センター)
 ☎ 018-868-6871

- ◎9月18日 講師：山中律雄師・小野碩瑛師
 紫雲・渓声・梅花
- ◎10月9日 講師：柳川浩二師・山中律雄師
 達磨大師御和讃・達磨大師御詠歌
- ◎11月6日 講師：富岳正純師・柳川浩二師
 各供養御和讃
- ◎12月11日 講師：小野碩瑛師・佐藤俊晃師
 成道御和讃・成道御詠歌
- 平成11年
- ◎2月12日 講師：本間雅憲師・伊藤道人師
 両祖様に関する曲目
- ◎3月12日 講師：伊藤道人師・本間雅憲師
 彼岸御和讃・彼岸御詠歌
- 午前10時30分～午後3時まで
 会費無料、講師変更あり

宗昌・守旗講習会 (会場 禅センター)

(午前10時30分～午後3時30分)

- ◎11月18日 講師：近藤俊貞師
 各供養御和讃
- ◎12月17日 講師：佐藤俊晃師
 成道御和讃・成道御詠歌